

# いばらき教員応援団

For the future of Ibaraki children

No.③

## 平成24年度の事業内容をご報告いたします



第1回合同研修 五木寛之氏

### 平成24年度事業概要

目的	日本を代表する一流講師による講演会を開催し、講話を通して、総合的な教師力の向上に資することを目的とする。
対象者 (全校種)	・新任校長 ・新任教頭 ・新任教務主任
研修 時期	○第1回合同研修会 6月25日(月) ホテルレイクビュー水戸 飛天の間 ○第2回グループ別研修会 8月20日(月)、23日(木)、27日(月) ホテルレイクビュー水戸 飛天の間

いばらき教員応援団

<http://www.ibaraki-tcp.jp>

茨城県教育委員会

<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/index.html>

### ごあいさつ

本県が産業大県「活力あるいばらき」として発展し、さらに21世紀の日本を創っていくためには、未来を拓くたくましい青少年を育成していくことが重要であります。「教育は人なり」という言葉がありますが、児童生徒に質の高い教育を実践する優れた教員の存在が不可欠です。



この度「いばらき教員応援団」を発足させ、多くの皆様のご支援、ご協力に依り、2年目の事業を無事終了することができました。

研修に参加されました先生方が、多数その講演内容に感動され、その気付きからこれからの教育活動に生かされるものと思っております。事業を運営していくなかで、責任者として確かな手応えを感じ、今後も県民運動の一環として茨城の教員を応援し、そのことによって茨城の教育力の向上を目指してまいります。

ここに広く、県民の皆様のこの事業へのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

理事長  
高野英一

# For the future of Ibaraki children

## 第1回 合同研修 | 6月25日(月)●新任校長・新任教頭・新任教務主任(543名)

### 演題

#### 今を生きるちから



受講者の  
感想より

- 「心がなえるから、しなやかに生きられる」を胸に、柔軟な心を持ち続けたいと思った。  
(利根町内小学校 教務主任)
- 声をかけ、励ましてあげることができる優しさを身に付けたいと思います。  
(常陸太田市内中学校 教務主任)
- しなやかさを持ちたいと心から思いました。  
(県立高等学校 教頭)

### ●講師

#### 五木 寛之 氏

【昭和7年 福岡県生まれ】

代表作に『朱鷺の墓』『戒厳令の夜』『風の王国』『蓮如』『大河の一滴』など。翻訳にチエーホフ『犬を連れた貴婦人』、リチャード・バック『かもめのジョナサン』など。英語版『TARIKI』は世界5カ国で同時発売となり、2002年ブック・オブ・ザ・イヤーに選ばれた。現在、直木賞、泉鏡花賞、吉川英治文学賞その他多くの選考委員をつとめる。

- 学校という狭い環境の中にいる私たち教職員にとって、今回の講演は視野を広げてくれたように感じます。  
(阿見町内小学校 教頭)
- 肩をいからせて頑張ろうとしていた自分に、そんなに焦らず、柔らかな感性を持った校長にならなければと思いをあらたにしました。  
(ひたちなか市内中学校 校長)

## 第2回 グループ別研修 | 8月20日(月)●新任校長 (133名)

### 演題

#### 人を導く者の責任



受講者の  
感想より

- 「言行一致」が全ての原点であると力強く語る上甲氏のことばとそのことを身をもって示されていることに、心から敬意を表する。私自身も日々、人間力を高める努力をしながら「他人に関心を持ち、他人のために惜しげなく力を注げる人」になるため精進したい。  
(阿見町内小学校 校長)

### ●講師

#### 上甲 晃 氏

【昭和16年 大阪市生まれ】

松下政経塾で初代塾頭を務めた経験をもつ。「志の高い日本」は「志の高い日本人」によってこそ実現するとの思いに立ち、志ネットワーク活動を展開している。また、活動の一環として、「青年塾」を創設し、青年の啓発にあたっている。

- 教育の原点は、「共に歩く」。わかっていても、指示だけで楽をしようとしていないか。自らが率先垂範して「共に学ぶ」地道な姿が本当の教育ではないか。  
(常総市内小学校 校長)
- 「人の嫌がることを率先して行う。」「自分の思い以上の結果は出せない。限界は自分の意識にある。」など、分かりやすい言葉だが、重い言葉だと感じた。  
(神栖市内中学校 校長)

## 第2回 グループ別研修 | 8月23日(木)●新任教頭(169名)



演題

徳は本なり



●講師

池田繁美 氏

【昭和23年 福岡市生まれ】

「素直な心は、よりよい生き方を生み出す」という信念のもと、人格向上のための「素心学」を学ぶ場として、〈素心学塾〉〈耕心塾〉主宰。また、「経営者のための人間学」「中小企業のための実践財務」「事業計画の立て方」等のテーマで商工会議所、青年会議所、など全国各地で講演活動を行っている。

受講者の  
感想より

他人を思いやり安心を与えられる徳のある管理職として職員に接し、同じ思いで職員が児童生徒の教育にあたらなければ、と感じた。  
(茨城町内小学校 教頭)

人格の本質的要素は人間の徳性である。徳とは「思いやり」である。時には「自己を忘れ」、「無私の心」で日々の職場を過ごしていく勇気をもらった。  
(日立市内小学校 教頭)

「德育とは思いやりの心を育てること」の一言に、これから日本の日本を支えていく教育の有り様が表されていると感じました。  
(日立市内中学校 教頭)

「師表徳化」この言葉を常に心に留め、本校の生徒や教職員に、安心と喜びを与えるような教頭になることが自分の使命であると痛感した。  
(県立高等学校 教頭)

## 第2回 グループ別研修 | 8月27日(月)●新任教務主任(249名)

演題

魂を揺さぶる本気教育  
—感動は人を動かす—



●講師

木下晴弘 氏

【昭和40年 大阪府生まれ】

著書『全国高校入試問題正解と分析 解答』(学研)、『できる子にする「賢母の力」』(PHP研究所)、『涙の数だけ大きくなれる』(フォレスト出版)他多数。「感動が人を動かす」をモットーに、学力だけではなく人間力も伸ばす指導は、生徒、保護者だけでなく、企業関係者からも絶大な支持を受けている。

受講者の  
感想より

何のために勉強を教えていたのか再考しました。教師として、大人として子どもの幸せを願って教育に携わっていきたいと思います。  
(小美玉市内小学校 教務主任)

他人を幸せにするために勉強が必要で、他人を幸せにした人が、自分の幸せを手に入れることができるということを示してくださいました。  
(取手市内小学校 教務主任)

教師として持つべき心構え、親や生徒に対しての適切な関わり方をこの年になって教わったような思いもあり、悔しささえ覚えた。  
(桜川市内中学校 教諭)

「人間、一生の間に誰の言葉を一番聞くか?それは自分自身の言葉だ。」「日本を変えるのは皆さん教師なんです」という言葉が心に響き、勇気づけられた。  
(県立高等学校 教務主任)



## いばらき教員応援団へのメッセージ

研修会に参加して、先行き不安なこの茨城を、日本を立ち直らせる原動力としての若者への期待とそれを担う教育界、教員への叱咤激励のためであるということ、教育の危機は将来の危機であるということを改めて思い知らされた。私たちが生徒達に伝えるべきことは、どんな所にでも咲く雑草のしたたかさを手本にし身につけることなのかも知れない。  
(県立特別支援学校 教務主任)

まず、「いばらき教員応援団」を企画なさった茨城の企業の篤志の方々に敬意を表します。私財を投じての研修会に有り難く参加させて頂きました。地域だけでなく企業の方々にも教育を支えて頂いていることに思い至り、「自分達も一層頑張らねば」という思いを強く致しました。

(常総市内中学校 教頭)



## 事業計画

### ○ 第1回合同研修会

平成25年6月25日(火)  
ホテルレイクビュー水戸 飛天の間

### ○ 第2回グループ別研修会

平成25年8月19日(月) 新任校長  
平成25年8月22日(木) 新任教頭  
平成25年8月26日(月) 新任教務主任  
ホテルレイクビュー水戸 飛天の間



## いばらき教員応援団役員一覧

### 【役員】

理事長  
高野 英一 タカノフーズ株式会社  
専務理事兼事務局長  
打越 芳男 株式会社打越製材工場  
常任理事  
齋藤 浩 社団法人茨城県医師会  
常任理事  
沼尻 博 沼尻産業株式会社  
常任理事  
和田 祐之介 茨城県商工会議所連合会

副理事長  
幡谷 浩史 茨城トヨタ自動車株式会社  
常任理事  
加藤 啓進 茨城日産自動車株式会社  
常任理事  
関 正夫 関彰商事株式会社  
常任理事  
幡谷 祐一 茨城県信用組合  
監事  
和田 芳武 ネットトヨタ茨城株式会社

### 【幹事】

鬼澤 慎人 株式会社ヤマオコーポレーション  
鯨岡 則雄 株式会社大宮自動車教習所  
鈴木 勝彦 株式会社鈴木良工務店  
幡谷 史朗 茨城トヨタ自動車株式会社  
和田 幾久郎 株式会社祐月本店

加藤 敏彦 茨城日産自動車株式会社  
坂場 英利 株式会社白英社  
関 正樹 関彰商事株式会社  
藤田 卓也 株式会社フジタビジネスマシンズ

## 今後も広く県民の皆様のご参加をお願いいたします

### 〈趣旨に賛同される方へ〉

趣旨に賛同される方は、本リーフレットに添付されております「いばらき教員応援団入会申込書」に必要事項を記入の上、下記の問い合わせ先に郵送でお申し込みください。ホームページからも入会申込書がダウンロードできます。

いばらき教員応援団 <http://www.ibaraki-tcp.jp>

### 【問い合わせ先】

茨城県教育庁高校教育課内 いばらき教員応援団事務担当

〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL.029-301-5260